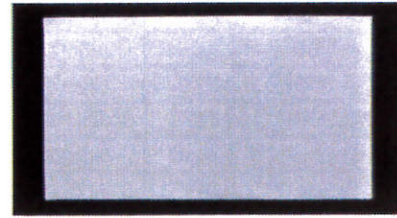


# アレイジェル/ジェルスポンジ



アレイジェル (左側)  
凝固剤 (右側)

ジェルスポンジ (厚さ0.3mm)



## 【商品】

商品No	商品名	内容	包装
21001	アレイジェル USM-J15-1	アレイジェル(15mL) 凝固剤(30mL) 各1本	セット
21002	アレイジェル USM-J15	アレイジェル(15mL) 凝固剤(30mL) 各3本	セット
21003	高濃度アレイジェル USM-J18-1	高濃度アレイジェル(15mL) 凝固剤(30mL) 各1本	セット
21004	高濃度アレイジェル USM-J18	高濃度アレイジェル(15mL) 凝固剤(30mL) 各3本	セット
21005	ジェルスポンジ USM-S20		20枚

\* アレイジェルの有効期限はボトルに記載しています。

## アレイジェル/ジェルスポンジの使用例

- ① 臨床側から病理側への生検試料移送
- ② 針生検のうねり対策
- ③ EMR試料の包埋補助
- ④ セルブロック作製の簡易化
- ⑤ ティッシュアレイヤーの作成

## アレイジェルの特徴

- ◇ 固化時間が僅かに6~10秒です。
- ◇ パンチ・ニードルバイオプシーやセルブロック、ティッシュアレイヤーの作成効率が向上します。
- ◇ 自立しない膜状検体もアレイジェルで固める事で形が維持できます
- ◇ ホルマリンにも溶けません



## ジェルスポンジの特徴

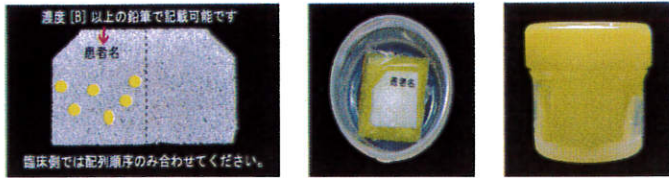
- ◇ 従来の裏打ち用紙と使い方は同じです。
- ◇ 薄切してもみくりとームの痛みはる紙と比較して減少します。
- ◇ 薄切が出来る事で裏打ち用紙から試料をはがす必要がなく、試料の紛失や挫滅を防ぎます。
- ◇ 透明度があるのでジェルスポンジを挟んで使用しても試料の確認が容易です。
- ◇ 染色液では殆ど染色しません。(一部染色方法によって例外有り)
- ◇ 鉛筆(B以上)で記載可能なので薄切時まで記載情報が残ります。

## アレイジェルとジェルスポンジの組み合わせ



# アレイジェル/ジェルスポンジ

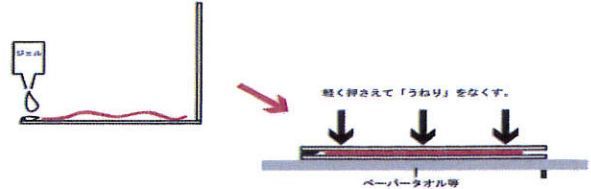
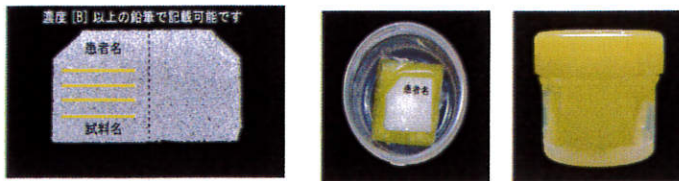
## 臨床側から病理側への生検試料移送



○試料番号は記載しなくても載位置で判明可能です。  
 (例) 左から→ 1・2・3・4・5・6  
 \* 一列に並んでいない際は病理側での整列が必要です。  
 底上げ用スポンジに載せ、更に上からスポンジを重ねれば移送中に紛失はしません。  
 (\* 固定液のコスト削減にもなります)

\* スポンジを使用しない場合は、アレイジェルを接着剤にしてジェルスポンジを挟んでください。

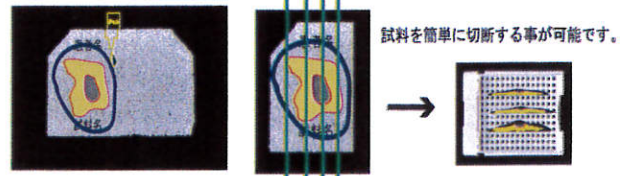
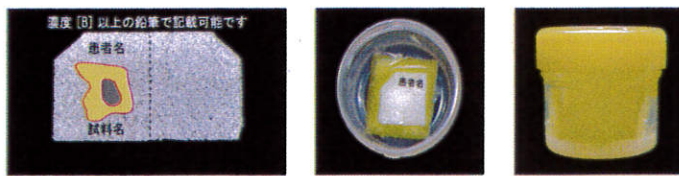
## 針生検のうねり対策



○ニードルバイオプシーをジェルスポンジに載せ、挟み込み軽く押さえる。  
 底上げ用スポンジに載せ、更に上からスポンジを重ねればうねりを抑えた試料を移送できます。  
 (\* 固定液のコスト削減にもなります。)

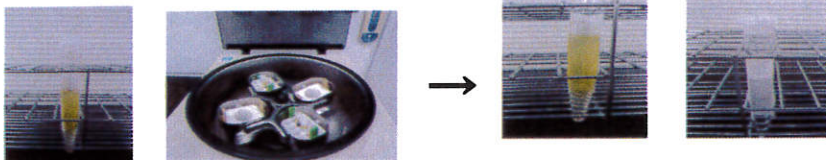
\* スポンジを使用しない場合は、アレイジェルを接着剤にしてジェルスポンジを挟んでください。

## EMR試料の包埋補助



底上げ用スポンジに載せ、更に上からスポンジを重ねればうねりを抑えた試料を移送できます。  
 (\* 固定液のコスト削減にもなります。)

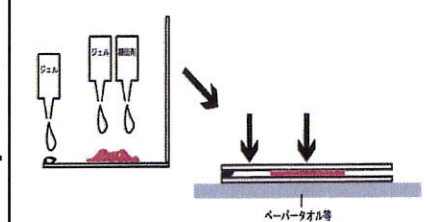
## セルブロック作成の簡易化



1500rpmにて15分遠心します。

上清を廃棄し沈査にホルマリンを加え5分間固定します。

遠心直接塗抹法にて処理し、余分なホルマリンを廃棄し、ジェルスポンジに滴下し、アレイジェルと凝固剤を滴下した後、ジェルスポンジを挟んでください。



1. 再度遠心分離後、上清を廃棄してください。
2. アレイジェル(青色液)を2~3滴加え、遠心し混和します。
3. 凝固剤(透明液)を2~3滴加えます。(遠心混和しても結構です)
4. ゲル化した沈査を取り出しカセットに入れます

通常の組織と同様に包埋プロセッサーにかける

\*使用上の注意点

- ・アレイジェル、ジェルスポンジはクロロホルムには使用できません
- ・染色液によっては染まる場合がございます。

販売元

株式会社 硝英製作所

〒101-0034

東京都文京区湯島2-15-3

TEL:03-3831-8876 FAX:03-3834-0614

製造販売元

株式会社 ユーケンサイエンス

〒101-0032

東京都千代田区岩本町2-18-7 シマダビル2F

TEL:03-3851-5113 FAX:03-3851-6165